



終了時間が変更となりました

No. ②② コミュニティアート・プログラム 2月7日(土) 午後2時~4時45分

# アートで社会を変えよう！ ~コミュニティアートの可能性

「コミュニティアート」ということばを知っていますか？

「コミュニティの再生にアートを活かそう」、「芸術を市民に開かれたものに」と、欧米で盛んな動きです。

アーティストと市民が、共に創造的な活動を行うことで、コミュニティが生き生きとし、課題解決にも役立てられます。日本でも、福祉、教育、まちづくり、医療など、さまざまな場でアートの力が活かされています。このプログラムでは、アートと社会をつなぐ活動の実践例を通して、社会の中でのアートの役割、その可能性について考えたいと思います。

## <事例報告 & フリートーク>

日本語通訳あり

宮浦宜子 / NPO法人 芸術家と子どもたち 事務局長

民間企業を経て2004年より「芸術家と子どもたち」に、コミュニティアート・プロジェクトの企画・制作や、学校でのワークショップ「ASIAS」のコーディネートほか、社会とアートが刺激しあう接点をつくる「つなぎ手」として活動。

太田好泰 / エイブル・アート・ジャパン 事務局長

1994年の設立と同時に専従スタッフとして参加。障害のある人たちの表現活動と社会をつなぐ中間組織として、アートを通したソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)を理念に掲げ、さまざまな企画を行う。2000年より現職。

佐東範一 / NPO法人 ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク(JCDN) 代表

1980~94年、舞踏グループ「白虎社」創立から解散まで、国内外の公演にて舞踏手兼制作者として活動。96年NYにて1年間のアートマネジメント研修。2001年NPO法人JCDN設立。全国で、社会とダンスをつなぐ活動を行う。

ローズマリー・リー / 振付家・パフォーマー・映像作家、ResCen アソシエートアーティスト

さまざまな分野・メディアにおける創作で知られ、世代を超えた出演者による劇場外での大規模なダンス作品や、映像作品などを製作。英国各地で、コミュニティダンスの指導や専門家育成に携っている。

定員: 40名 (申込先着順)

参加費: 1,000円

(一度お支払い頂ければ、2月6日~8日に同時開催する他のプログラムにも参加できます)

主催・申込・会場:

東京ボランティア・市民活動センター

TEL: 03-3235-1171

FAX: 03-3235-0050

詳細は <http://www.tvac.or.jp>

協力: プリティッシュ・カウンシル



No. ②④ コミュニティアート・プログラム 2月7日(土) 午後6時~8時30分

# 心で感じるフラメンコ！ ~ダンスで作る様々なつながり

最近もやもやしている人、体を動かすのが好きな人、障害のある人もない人も、年齢を問わず

フラメンコのあつーい踊りにのせて、ことばじゃいえないこの気持ちを、自分の感情を、表現してみませんか？

どんな方にも気軽に参加していただける、プロのフラメンコ舞踊家によるワークショップです。

新たな出会いの中で素敵なハーモニーが生まれ、そこにいる人や空気を感じながら、きっと自然に体が動き、終わるころには、フラメンコのとりこになっているはず…。

アーティストと市民のコラボレーションが、新たなコミュニティの力となることを期待します。

<講師> 佐藤浩希 / フラメンコ舞踊家・振付家

保育士、介護福祉士の資格取得後、福祉の道からフラメンコの道へと進む。1993年より鍵田真由美に師事。アルティ・ソレラを鍵田とともに主宰し、文化庁芸術祭大賞ほか数々を受賞。スペインのマスコミも高く評価。他ジャンルとのコラボレーションや障害のある人たちの作品を発表。フラメンコ界内外から熱い視線を集める。

定員: 30名 (申込先着順)

参加費・会場・主催・申込:

上記に同じ